

## □ 実験ノートの重要性：

- ◆ 唯一の物的証拠
- ◆ 最も正確な情報源
- ◆ 共有財産 ⇒ 論文執筆や特許申請の際の証拠書類

## □ 実験ノートの運用：

- ◆ プロセスに従い、正しく運用すること。
- ◆ 国・県・大学・公的研究所の財産として、適宜管理・保管すること！

**【助言】** 定期的な管理教育（実験ノート・データ管理・・・）の実施とチェック機構（アーカイブ・・・）の存在が重要。 ⇒ 代々引き継ぎながらベストを目指すこと！ **「あるべき姿」** を目指した**改善**が重要です。

# 世界の国家研究公正システム：

- 日本の研究不正への対応は、第三者機関がなく、各研究機関に任されている点の特徴だという。

## 研究公正システムの分類

### — 先行研究の分析から —

HAL Typology (2009)

ENrio (Oct. 2012)  
“Mode of Regulation”

Type 1	調査権限がある国として立法化された集権システム (米国、デンマーク、ノルウェー)	National Commissions With legal mandate (デンマーク)
Type 2	研究費配分機関や個々の機関とは異なる監督のため立法によらない組織 (non-legislated body) で構成 (ドイツ、イギリス)	National Advisory Bodies (ドイツ、イギリス、オランダ etc. 11カ国※) ※ノルウェーが含まれている。
Type 3	独立した研究公正監督組織又はコンプライアンス機能がないシステム (フランス、日本※) ※文科省ガイドラインは言及されている	Local Commissions (フランス、ベルギー、アイルランド etc. 5カ国)

(注) 表の記述は、CCA報告書(2010)の解説に基づく。

(注) ENrioの出典はオーストリアの研究公正機関(OeAWI)の作成(10/2012)した資料を基に作成



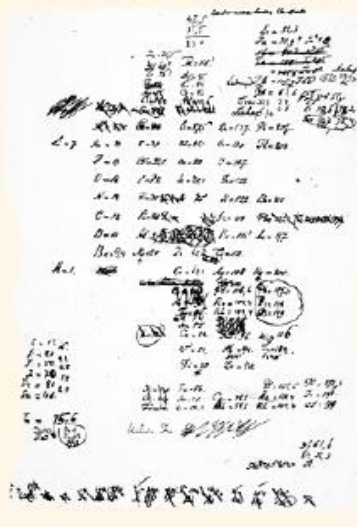
# 実験ノートって? : 記録・証拠

□ **The Effort Spent is not Wasted** : It takes time to produce accurate notebook entries, but it is worth the effort-consider famous scientists from history.

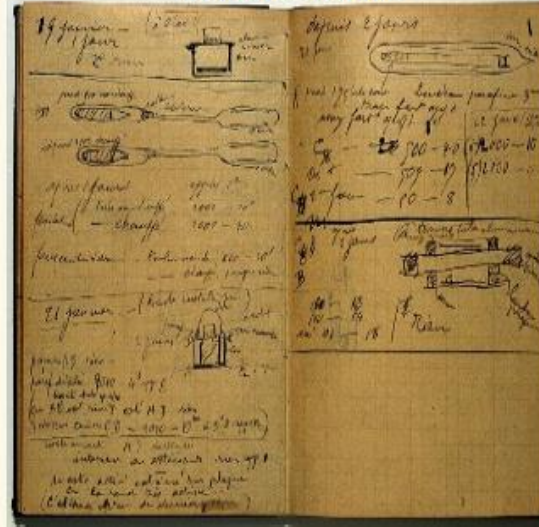
Leonardo Da Vinci



Dmitri Mendeleev



Marie Curie



Thomas Edison

